

ススキノの路上から世界の舞台へ。そんな夢物語が、本当に存在する。

中南米の民族音楽「フォルクローレ」。福島県川俣町は、知る人ぞ知る日本のフォルクローレの聖地である。同町では、毎年「全日本フォルクローレフェスティバル」が行われ、全国から腕に覚えのある演奏家が集う。日本代表審査会の優勝者は本場アルゼンチンで行われる中南米音楽の祭典、「コスキン・フォルクローレ・フェスティバル」に出場する権利を得る。

一昨年、この川俣町のフェスティバルに北海道からただ一人、海鈴さんは出場した。そのわずか数カ月前までは、

ススキノでストリートミュージシャンをしていた彼女だったが、人に薦められて聞いたフォルクローレに衝撃を受け、その魅力のとりこになった。必死になって曲を覚え、フェスティバルに臨んだという。

残念ながら結果は出せなかったが、これが彼女にとって大きな転機となる。新潟を拠点に活動するギタリスト瀬賀倫夫氏が、彼女の歌声にほれ込み、共演が実現した。昨年には、その瀬賀氏の招きで来日したアルゼンチンフォルクローレ界の大御所ファン・カルロス・カラバハルの前で歌声を披露する機会に恵まれ、その才能を絶賛された。現在、札幌、小樽、新潟でコンサー

2002 . 12

白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>
白石区民公式サイト「shiroishi.org」
<http://www.shiroishi.org/>



今月の

人

歌は歌う人の生きざまそのもの。ただ心込めるだけでない「魂の歌」を歌い続けたい。

来年一月にアルゼンチンのコスキン市で行われる「コスキン・フォルクローレ・フェスティバル」に日本代表として出場する

天使・海鈴さん

(区内在住)

トに出演し、その歌声に磨きをかけている。

今年七月に川俣町で行われた日本代表審査会。彼女は、瀬賀氏と結成したグループで出場して見事優勝し、来年一月のアルゼンチンのフェスティバルへの出場切符を手に入れた。ステージでの名前「天使・海鈴」は、知人が「天使のように純粋な心で歌って」と付けてくれたもの。「今の私自身を素直に表現したい」と抱負を語る。フォルクローレに出会ってわずか二年。彼女は世界の舞台へと駆け上がった。年が明ければ、ススキノの路上から生まれた天使の歌声は、日本のはるか裏側、アンデスの山々にこだまする。

編集 白石区役所総務企画課広聴係
☎003-8612
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1
☎861-2400 内線224
FAX860-5236